

# い インフルエンザ特集

特別号

(有) 静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678  
ひまわり薬局 TEL053(463)4312 みかん薬局 TEL053(584)2230



## インフルエンザワクチン 予防接種を受けましょう

日本では、インフルエンザは12月から3月までの冬の4ヶ月の間に毎年流行しています。

年によって早まったり、年が明けてから流行が始まったりしますが、およそ1月下旬から2月上旬あたりにピークを迎えます。

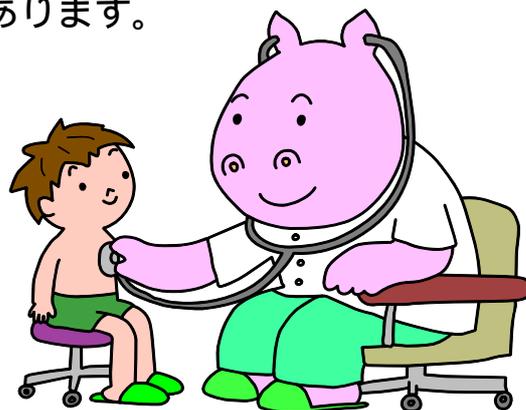
インフルエンザはインフルエンザウイルスという特定の微生物の感染によって起こる病気です。インフルエンザでも、軽い場合には風邪と区別が付きにくいですが、一般にインフルエンザの症状は重く、特に小児や高齢者、基礎疾患のある場合は重症化しやすい傾向にあります。

### インフルエンザワクチン Q&A

Q1. いつごろ接種すればいいですか？

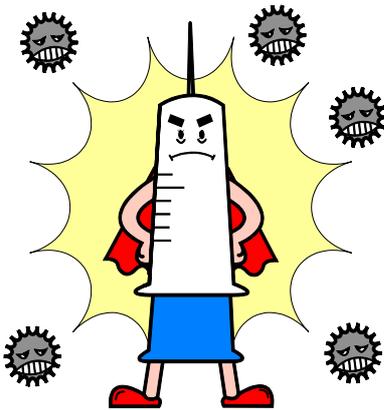
日本でのインフルエンザの流行時期とワクチン接種後の抗体の上昇より、流行が始まる前の10月下旬から12月中旬の接種が望めます。

幼児には1~4週間の間隔をあけての2回の接種が有効です。成人の方は1回接種と2回接種の有効性に有意差がないため、1回の接種となっています。



## Q2. 接種部はもんでもいいですか？

接種部位は清潔なアルコール綿で押さえ、(アルコールでかぶれたりする方は前もって医師に申し出てください)数回かるく揉んで下さい。接種後 1 時間を経過すれば、当日の入浴は差し支えありません。また、接種前に健康状態について詳しく問診されますが、まれに予想外の副反応が起こることもあります。接種後 30 分以内の体調の変化を十分確認して、医師とすぐに連絡を取れるようにしてください。また、副反応の多くは 24 時間以内に出現しますので、特にこの間は体調の変化に注意して下さい。



## Q3.どのくらいの期間効果がありますか？

ワクチン接種後 2 週間目頃から効果が現れ、1 ヶ月後までにピークに達します。その後 3 ~ 4 ヶ月後にはウイルスへの抗体は低下傾向を示しますが、効果は半年近く持続するとされています。

## Q4.ワクチンを打ってもインフルエンザにかかるのはなぜですか？

インフルエンザウイルスは頻繁に変異を起こすので、その年流行することが予想されるウイルスにあったワクチンを流行シーズン前に接種していません。ですから、ウイルスの型が合わなければインフルエンザにかかる可能性はありますが、全く型が合わないということはほとんどありません。

主な理由としては、ワクチンによる抗体獲得に個人差があることや、体調による(接種していても流行期に体調が悪ければ、かかりやすくなります)ことが多いと考えられます。

しかし、ワクチンを接種していれば、インフルエンザにかかったとしても多くの方は軽症ですんだり、重篤な合併症や死亡を予防することが出来ています。



\* インフルエンザワクチンでは他のウイルスの感染による「かぜ」を予防することは出来ません。

# インフルエンザはどんな病気？



かぜとは別の病気です。かぜは、くしゃみ、鼻水、鼻閉、咽頭痛、咳などの呼吸症状を示し、およそ1週間で治る病気です。インフルエンザは毎年冬季に大きな流行をおこします。そして、高齢者での肺炎合併、小児での脳症合併など重篤な経過をたどる点で、他のかぜと違う重大な病気です。

項目	インフルエンザ	かぜ（普通感冒）
発病	急激	緩徐
悪寒	強い	軽い
症状の具合	全身症状	上気道症状
発熱	高い・しばしば39~40	ない・あっても37台
関節痛・筋肉痛	強い	ときに
重病感	あり	ときに
眼所見	結膜充血	なし
鼻・咽頭炎	全身症状に後続する	先行する・顕著
経過	一般に短い	短いが長引く事あり
合併症	気管支炎・肺炎	少ない・中耳炎・副鼻腔炎
発生状況	流行性	散発性

## Q1.インフルエンザの予防としてマスク、手洗いは有効ですか？

インフルエンザの感染は、ウイルスを吸い込む以外に、ウイルスが付着した手指を口や鼻に直接触れることでも成立します。インフルエンザウイルスの粒子はマスクを通過するほど小さいですが、マスクをする事でインフルエンザにかかった方の飛沫が通過しにくくなる上、手や鼻に触れる機会も少なくなります。手洗いで付着したウイルスを洗い落とす事が出来るので、予防には有効といえます。

## Q2.鳥インフルエンザは人に感染する事がありますか？

鳥インフルエンザは1997年に香港で史上初めて人への感染が報告され、その後の同様の報告により、感染率は高いものではないものの、感染しうるものであることが確認されました。

# インフルエンザ治療薬



Q. どんないんげんが治療薬があるの？

現在はインフルエンザウイルスの増殖を抑えるお薬が使われており、次にあげる3種類があります。いずれも、1日2回で5日以内の短期間使用します。

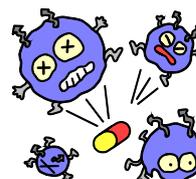
お薬の名前	剤形	有効なウイルスの型
タミフル	カプセル ドライシロップ	A型とB型
リレンザ	吸入	A型とB型
シンメトリル	錠剤 細粒	A型のみ

これらのお薬は、ウイルスの増殖を抑え、症状を軽くしたり、インフルエンザにかかっている期間を短くし悪化するのを防ぐなどの効果が期待できるといわれています。ですから、症状が現れてからなるべく早く（48時間以内）使用することが重要です。インフルエンザかな、と思ったら早めの受診をおすすめします。

Q. 副作用はあるの？

副作用は少ないといわれています。

タミフルでは腹痛や下痢などの消化器症状が主に副作用として報告がされています。服用後2日以内の発現が多く服用を中止しなくてもよい場合が多いようです。また、特にお子さんには興奮などの症状が現れる場合もあります。



リレンザは吸入薬で、気管支の症状が現れる人もいます。

シンメトリルはパーキンソン病のお薬としても使われていますが、消化器症状や、不眠などの副作用が起こることがあります。気になる症状は早めに医師、薬剤師に相談しましょう。

## インフルエンザと解熱剤について

インフルエンザにかかると、高熱が続くことがあります。そのような場合、解熱剤を使用することで発熱を抑えることができます。しかし一方で、発熱はウイルスから体を守るろうとする反応ですので過度に解熱剤を使用するとこの防御機構を抑制してしまうこともあります。

解熱剤を使用するおおまかな目安は38.5度以上で、発熱に伴う症状(不眠、体力の消耗が激しい、水分や食事がとれないなど)を改善することが目的です。体温には個人差がありますのでそれぞれの状態によって使用します。

インフルエンザにかかっている時に使用すると、特に小児で、インフルエンザ脳症やライ症候群の発症確率を高めたりする解熱剤もあります。以前処方された薬や、市販の薬を自分の判断で使用せず、医師、薬剤師に必ず相談するようにしましょう。